

平成 27 年 8 月 20 日

8 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は、丸太価格下落による意欲減退で減少続く。荷動きは製品需要が引き締まり、入荷減のなか急速に回復。スギは柱材の引合いが強まり、中目材は良材に引合いが集中。ヒノキは全般に荷動きが好転し引合い強まる。価格は全般に下げ止まりから小反発に転じ、スギは柱材・中目材良材が強含み、中目材並材は横這い。ヒノキは柱材が強含みで中目材は強保合で推移。

群馬の製材工場の操業状況は通常、最悪期は脱した模様だが継続性には疑問。構造材に関しては多少の荷動き感はあるが、羽柄材は依然荷動き悪い。役物は公共事業で多少の荷動きあるが、製品市場からの引合いは極めて少ない。製品在庫はヌキ等副産物と柱角に荷余り感あるが、徐々に減少傾向。原木の入荷は価格低迷と虫害で減少。原木在庫は少なく出材を望むが全体的に少ない。

2. 米材

輸出向け丸太は、米国・カナダ西海岸の山火事防止のため伐採規制が強化され、加 BC 州の伐採量はほぼ半減し、米ワシントン・オレゴン両州でも 80%程度に減少。伐採減により港頭在庫は払底状態で、7 月から材待ちによる滞船起こる。ウェアハウザー社の 8 月積み対日米マツ価格は、7 月積比推定 \$ 20 アップ。6 月の米材丸太の入荷・出荷とも回復基調。在庫は横這いで 1.1 ヶ月分。国内の大手港湾製材工場の製品販売は回復傾向。米加針葉樹製材品協定に基づくカナダから米国への輸出税は、8 月から 15%→5%にダウンし 10 月からは無関税となる可能性。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)7 月の入荷量は 32.4 千 m^3 (前月比 25.0%増)で SPF 等万遍なく入荷、出荷量は 30.3 千 m^3 (同 4.7%減)で 3 ヶ月ぶりに減少。在庫量は 48.1 千 m^3 (同 4.5%増)。ランダムレングス紙 15 種平均価格は、7 月末で \$ 340/ m^3 でじり安。6 月の米国新設住宅着工は年率 1,174 千戸で、対前年同月比 26.6%と大幅増加。小手業者の 9 月積ベイマツタルキは \$ 402/ m^3 、根太・筋交は \$ 413/ m^3 。日本市場は 7 月も仕事に迫力なく当用買いの動き。在庫は少なく価格差で国内挽きのシェアは増加しているが、現状でも根太、筋交いは品薄気味で先行き価格アップが焦点。

3. 南洋材

サバは断食月も終わり好天続きのため伐採が回復。太材良木の手当ができるサバには各国のバイヤーが集まり、原木は高値で張付いたままの状態。現地製材工場は原木高と輸出志向で原木を手当できず、製材品の生産は減少傾向。サラワクは原木の出材減が常態化し、現地木材産業は低迷、価格も無い物高の状態。PNG ソロモンはインドを中心に原木買付が活発で価格も依然高値横這い。丸太の入荷は減少、出荷・在庫とも横這い、製材品入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも変化なく、製材品は7月以降徐々に引合い増加。

4. 北洋材

シベリアは丸太の冬切材の減少に伴い、現地の原盤価格は一部で\$350-360/m³に上昇。中国向けは相変わらず好調で、キーレンクス材（優良材）を買付ける業者も出ている。富山新港の7月の丸太入荷は1.3千m³、製品入荷は2.3千m³。丸太在庫は全国で4.6ヶ月分。丸太価格はエゾマツ\$140、カラマツ合板用\$130、アカマツ\$175-180で保合。製材品は現地挽きがABグレード保合、国内挽きは弱含み。荷動きは現地挽きアカマツ30×40ABグレード良好、Cグレードは依然低調。国内挽き製品は6月に比べやや良好。国内の北洋材製材工場は不採算。稼動状況は一部工場で残業対応あり、原盤のウェイト上昇。受注状況は住宅用が低迷し、非住宅用の比率が増加。グリーン材は需要減少。

5. 合板

原料丸太のうち国産材価格は、バイオマス発電の原料不足の影響で全般に強含み。ロシア材は弱含み変わらず、米材は内需好調で若干強めで推移、南洋材は相変わらず丸太の集荷難から高値で張り付いたまま。6月の国内総生産量22.8万m³のうち針葉樹合板は21.3万m³、出荷量は24.9万m³で過去最高値を記録。在庫量は大幅に減って23.2万m³。

国産針葉樹合板の受注は7月も好調に推移。メーカーの需給調整と先高感から早めの手当が続いているが、景況感の好転が感じられないルート筋では在庫が流通に置き換わっただけとの見方あり。輸入合板は6月から反転、7月は緩やかな動きが続き実需は感じられない状況。先行き国産針葉樹合板は8月も期限限定で値上げは確実。流通での不足感も慢性化の気配。輸入合板は為替円安と現地高でコストは上昇。需要が盛り上がり価格に反映されてない中で、大幅な入荷減少もあり、需要次第では欠品アイテムが出る可能性。荷余り品目は無く、品薄品目は針葉樹（3×6 12mm）、ラワン厚物。

6. 構造用集成材

原料ラミナは 130 円/€台契約分が入港し円貨ベースでは上昇。QTR3 の各集成材メーカー契約量は通常より若干少なめで各社とも慎重。7 月の受注は例年通りだが為替の先読み困難で当用買い続く。荷動きは柱・梁で横這い、全般的には上棟数が多くなりプレカット稼働率もアップし回復の兆し。間柱は入港少なく荷動き良好。価格は 6 月で下げ止まり、7-8 月とも RW 梁桁・WW 柱は横這い。輸入集成材は 7 月が現地夏休みと円安に対応できず現地オファーは少ない模様。慢性的な入港遅れが続き、現在 1 か月程度遅れており、この状態が続けば 9 月以降入港は一段と少ない模様。

7. 木材チップ

チップ用原木はバイオマス発電用に流れ製紙向け入荷は減少気味。消費意欲は旺盛だが材の入荷待ち状態で在庫は減少。チップ原木の出材状況は悪く、輸入チップは入荷旺盛。チップ価格はバイオマス発電の影響で値上がり傾向。間伐材原木、間伐材チップともに工場渡し 6,500 円/t 程度。チップ工場の稼働は原木入荷減により低下。

8. 市売問屋

国産材の構造材は依然実需が乏しく低調だが、スギ KD 柱にまとまった動き。造作材は引続き小規模リフォーム需要が堅調。外材の構造材も低調だが多少の上向き感。造作材は建築用の米ツガ、スプルース、米ヒバの動きはまずまずだが、建具用は時期的に低調な動き。市日の来場は総じて模様眺めの当用買い状態。国内の住宅着工が回復基調でお盆明けの秋需に期待。

9. 小売

国産材の構造材はスギ柱・間柱、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツタルキが保合、米ツガ KD 角、平割とも保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルース良材、ナラ、タモ保合。集成材は WW、RW 梁、柱とも保合。合板は針葉樹 (3×6 12mm) が強保合、輸入ラワン構造用は強保合。床板・フロア保合。プレカットは来月以降明るい兆し。町場工務店の新築、リフォームともに受注状況は改善。

8月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	↗	↗	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	↗	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↗	↗	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向	
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↗	
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↗	
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↗	
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↗	
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→	
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→	
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→	
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→	
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗	
			国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード (カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→	
			東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
製材品 (カナダ産・ 現地挽き)	(国内挽き)	米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→		
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	↘		
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→		
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→	
			東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→	
			東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD) 30×40 AB	↗	
			アカマツ (KD) 15×45AB 18×45AB	↗	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗	
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→	
			欧州産	// 10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→	
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→	
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗	
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗	